

○「がんに関する教育」について

＜目的＞

現在、日本人の2人に1人が、がんになり、3人に1人ががんで亡くなると言われている。がんは、日常生活と密接に関係する疾患であり、がんを予防するためには、生活習慣を形づくる時の教育が大変に重要である、このことから、ある程度の理解力が備わり、また喫煙習慣や生活リズムの変化をきたしやすい中高生を対象とし、がんの理解と予防に関する知識を深めていくことを目的として、がんに関する教育を推進していく。

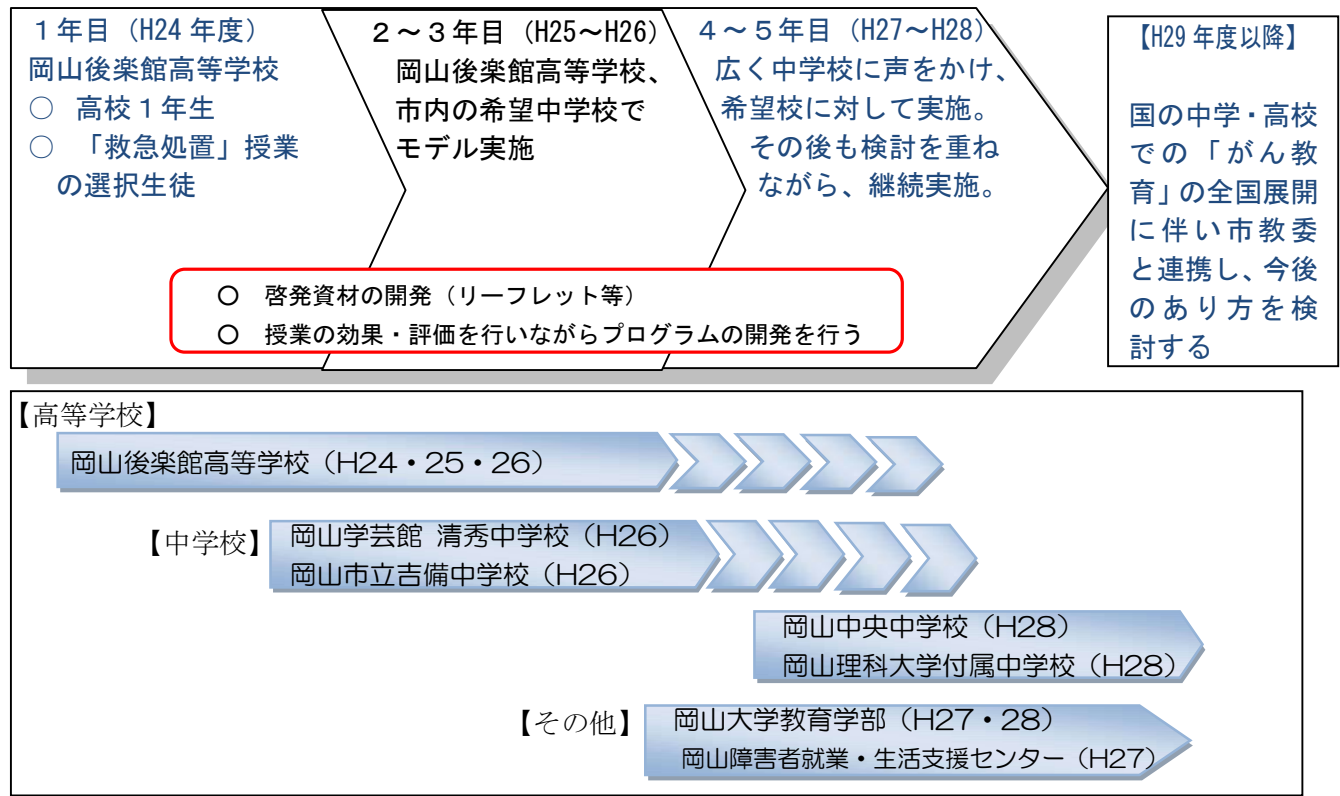
＜ねらい＞

健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理し、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識を持つように教育する。

＜方法＞

- 1 モデル校・実施希望校におけるがん教育の実施（H24 年度～）
- 2 教育啓発資材の開発 ⇒ リーフレットの作成・使用（平成 26 年3月末初版発行）
 - ・中学生や高校生にもわかり易い啓発資材を作成し、効果的ながんに関する教育を行う。

＜実績＞



3 授業内容

- 講師による講話：医師、保健師、栄養士等、がん患者、MSW等
- リーフレット：『知って欲しい「がん」のこと』…平成 27 年 3 月改定
- 授業時間：50分内容（講話中心）と100分内容（グループワーク実施）の2通りのプログラム